

区民と区長のタウンミーティング（2022年12月21日開催） テーマ：令和5年度予算で検討中の主な取り組み（案）

●主な意見一覧

子育て先進区の実現に向けた取り組みに対する意見

入学後の新しい環境に馴染めず、「学校生活が怖い」と感じて不登校になる児童や生徒が増えているように思う。保護者は子どもたちの学校での様子を心配している。子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、子どもたちの自主性が尊重される授業や環境を、学校が地域や保護者と一緒に考えてほしい。

学校に居場所がない子どもたちへの支援として、メタバースを活用した授業を行う団体がある。中野区でもそういった取り組みを進めてほしい。

自分の子どもが通っている学校のクラスでは授業がうまく進んでいない。保護者が授業中の子どもたちの見守りに協力しているが、状況が改善しているように見えない。これは子どもたちが不登校になってしまう原因になると思う。事態の解消のため、学級支援員などの人員を増やしてほしい。

子どもの健康面や精神面に良い影響があると聞いているので、学校給食にオーガニック（有機栽培）の食材を使ってほしい。食材費が高騰している中で難しいと思うが、検討してほしい。

新型コロナウイルス感染拡大の中、遠足や校外学習などの中止の判断基準が、学校ごとにばらつきがあると感じている。区立の学校全体で、判断基準を統一すべきだと思う。

発達に課題を抱えた子どもたちへの支援が不足しているように感じる。教員や専門家を増員するなど、支援を充実してほしい。

保育園や学校、学童クラブなどで人材不足が発生している。正規職員を確保し、長く勤められるような環境作りをしてほしい。

子どもの権利委員会が発足し、子どもたちの権利を守るために議論がされていることは、素晴らしい取り組みだと思う。子どもたちの意見が尊重され、子どもたちが健やかに成長できるような取り組みを実現してほしい。

先日、子ども相談室に行ったところ、施設が古く、暗い印象を受けた。相談しやすい雰囲気になることを期待している。また、施設内でイベントや一時保育、子育て広場を実施するなど、親子にとって親しみを持てる施設にしてほしい。

子育てに関する情報をまとめた冊子を発行してもらえるのはうれしい。母親だけでなく、父親の意見も取り入れるなど、子育て世帯と一緒に冊子に載せる内容を検討してほしい。また、子育て世帯の活躍の場を増やすためにも、区有施設の利用方法などの幅広い情報を載せてほしい。